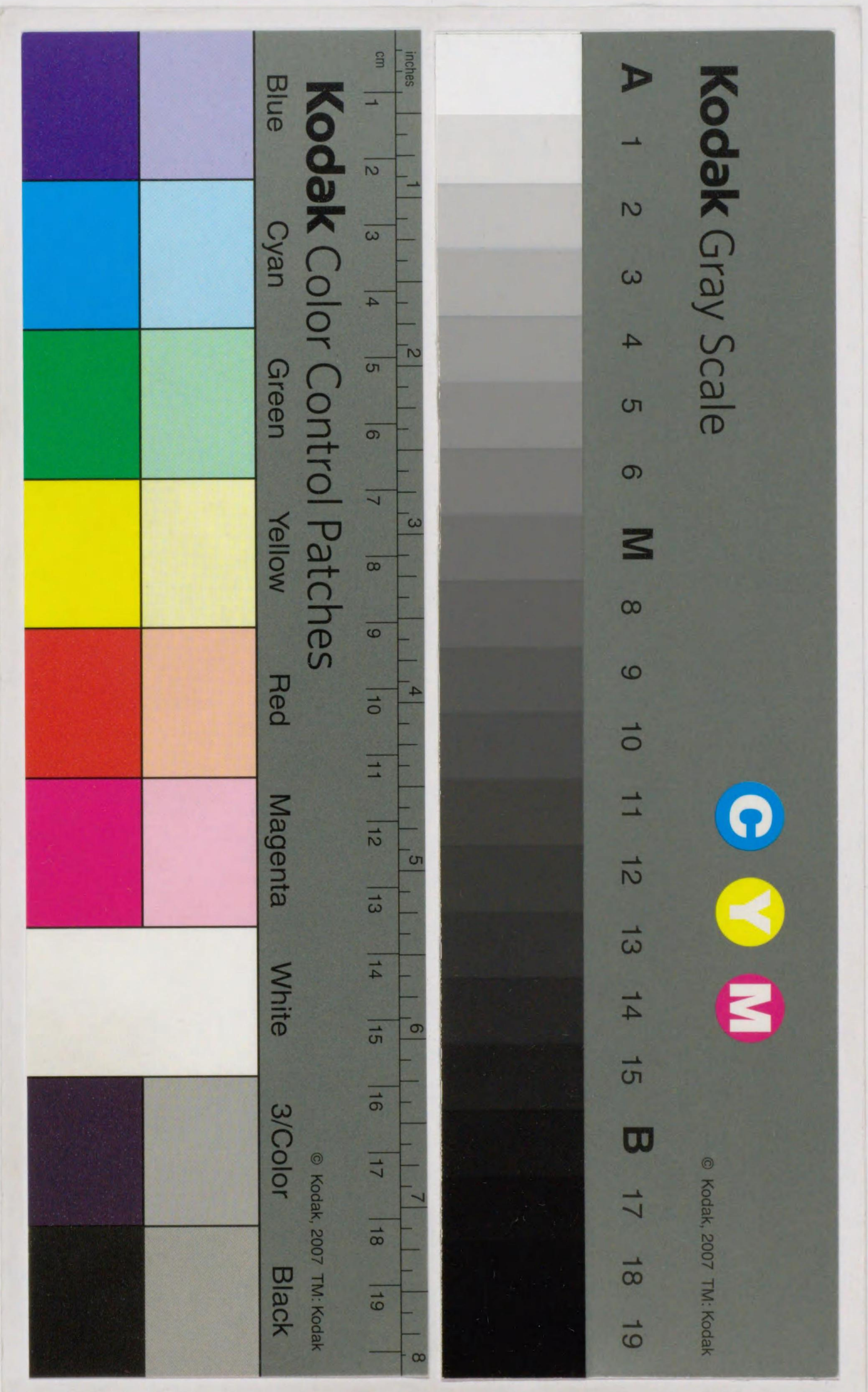


 石下

 名には鑑

 石下

 巻七五





張的體第五

目錄

童陽書

并菊子傳

生玉系

并相撲

之津系

并市

任右相撲

并諸派諸派
以諸派諸派

之玉守一書

并例幣

之月系

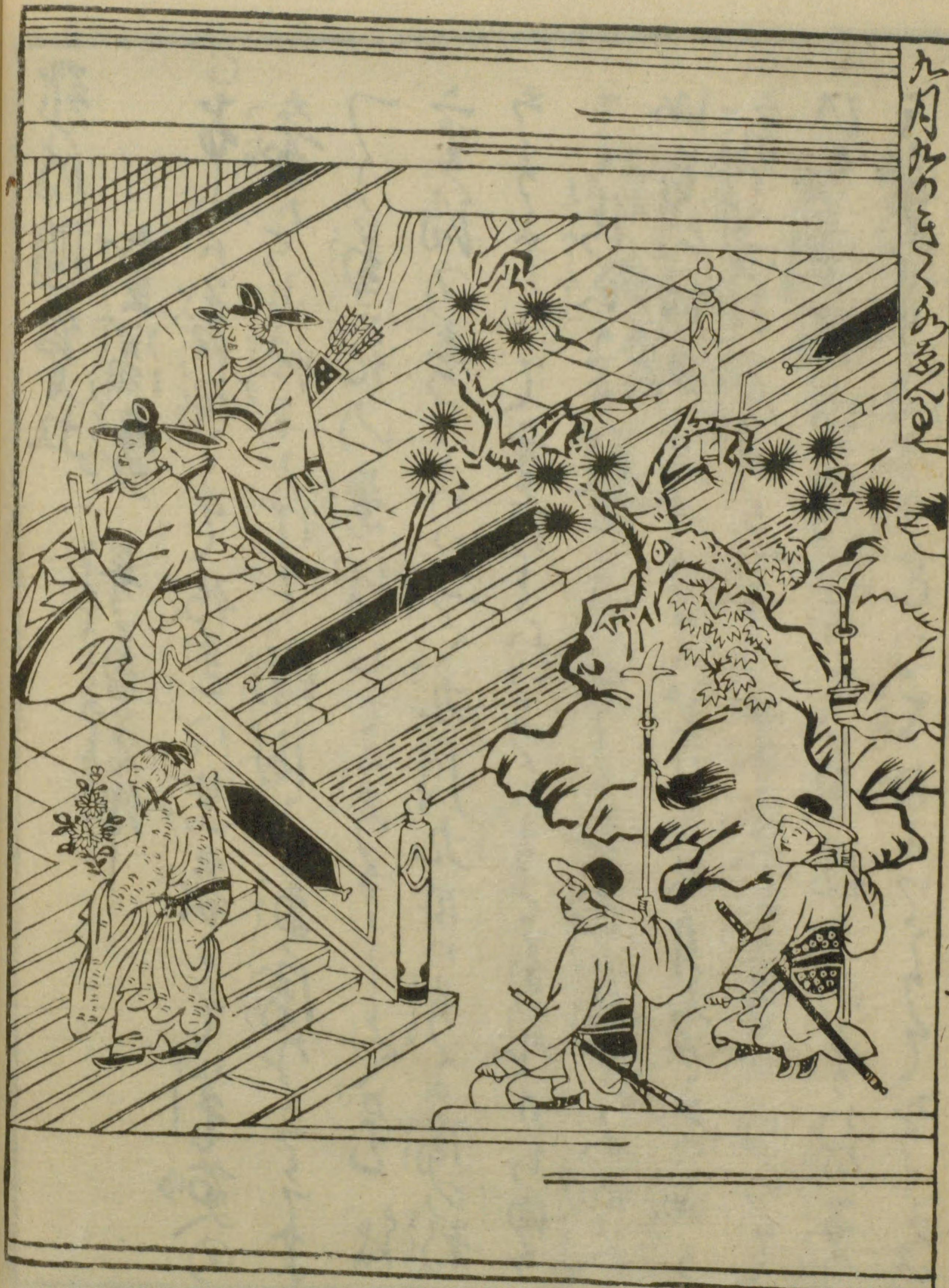
之白系

之宮系

之為系

大正
13.6.13
内交

西國圖書印
大正
13.6.13
内交



九月廿五日

親大羊... 其方... 皇中... の
 後... 皇... の... 皇... の...
 二... の... の... の... の...
 時... の... の... の... の...
 時... の... の... の... の...
 七... の... の... の... の...
 皇... の... の... の... の...

九月九日... 皇... の... の...
 皇... の... の... の... の...
 皇... の... の... の... の...
 皇... の... の... の... の...
 皇... の... の... の... の...

生玉系

同九日

皇... の... の... の... の...
 皇... の... の... の... の...
 皇... の... の... の... の...

いなりのおららば

巻二

十一



なまはな

同廿二日

○當日を洗神のしるしに、たしかなの侍を、神系
を考へ、氏との系統おびきりしりしりしり

天満病宿名

同廿二日

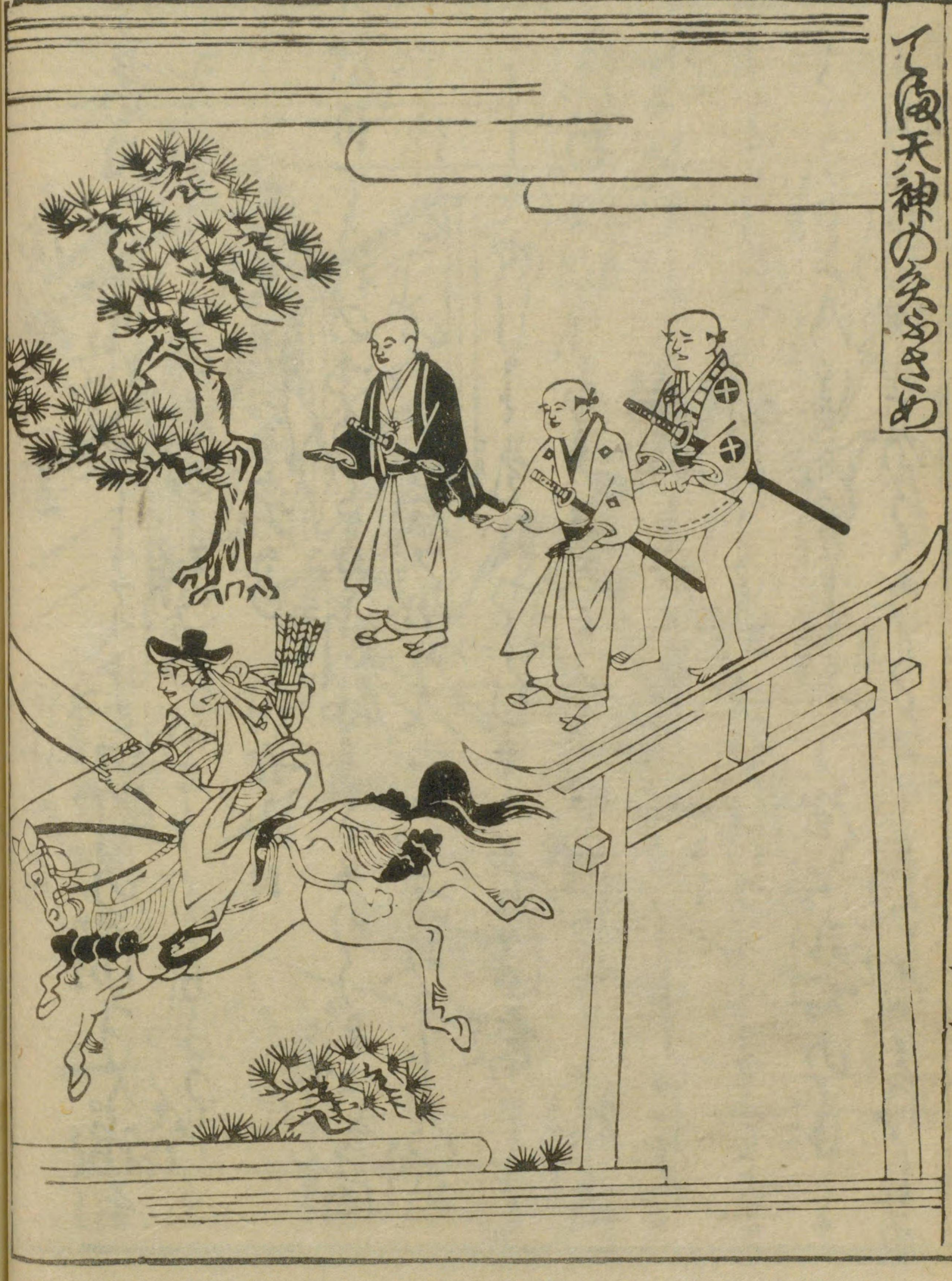
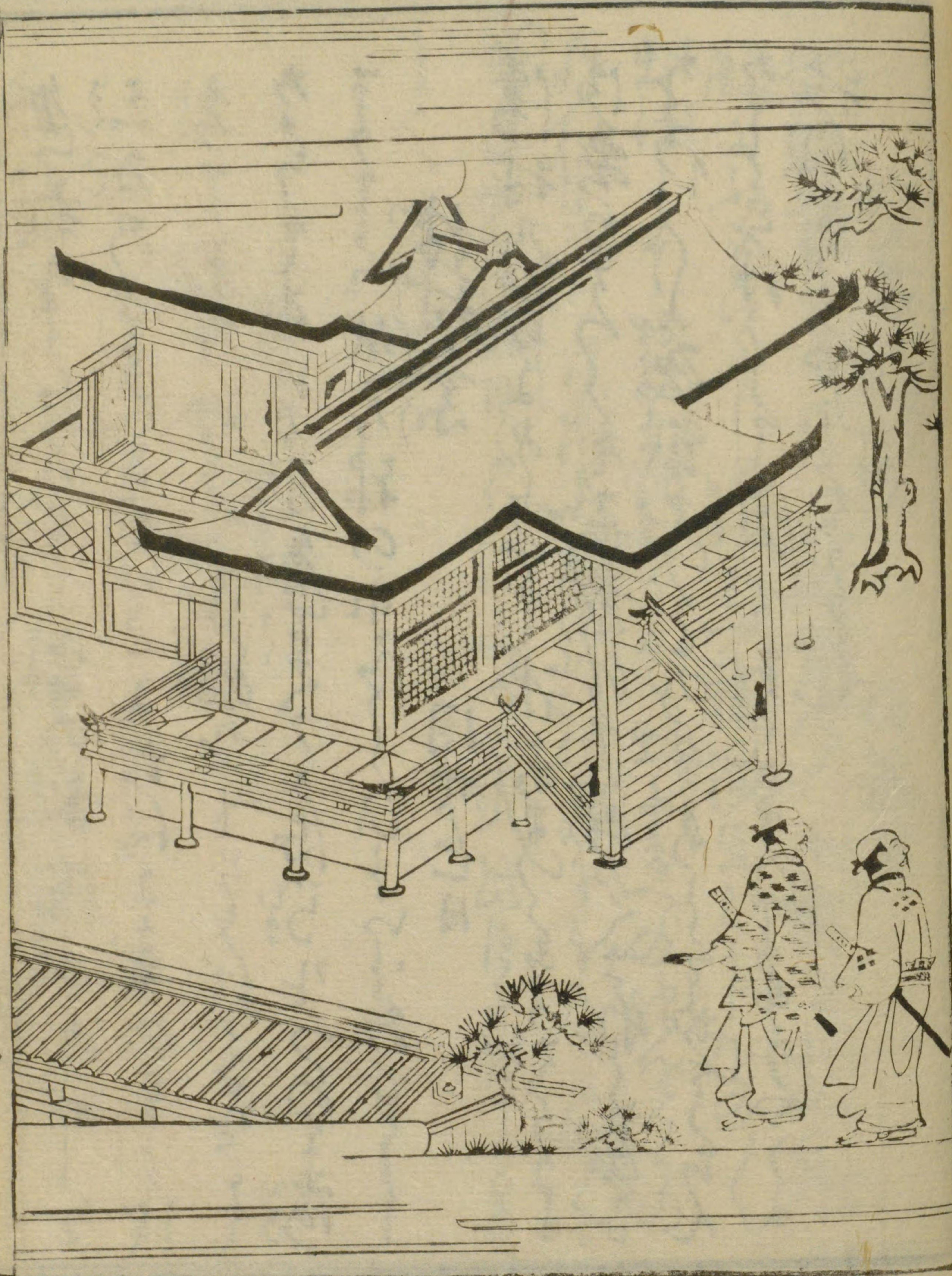
○け日て神の洗神のしるしに、たしかなの侍を、神系
て神のしるしに、たしかなの侍を、神系

とて、やしとせ、たつとせ、まづつとせ、いふとせ、
後、たつとせ、まづつとせ、いふとせ、

とて、やしとせ、たつとせ、まづつとせ、いふとせ、
後、たつとせ、まづつとせ、いふとせ、

とて、やしとせ、たつとせ、まづつとせ、いふとせ、
後、たつとせ、まづつとせ、いふとせ、

りて



て候天神のまゝさめ

三ノ

美ノ

十二

知らぬ教をうけりて。家の前濱に舟を
 置き。乃ち舟を動かさず。舟のまゝに
 流るるを待たせり。舟のまゝに流るる
 舟のまゝに流るる舟のまゝに流るる
 舟のまゝに流るる舟のまゝに流るる

舟村系

同廿七日

舟村の舟のまゝに流るる舟のまゝに流るる
 舟のまゝに流るる舟のまゝに流るる
 舟のまゝに流るる舟のまゝに流るる
 舟のまゝに流るる舟のまゝに流るる

位者非送

同晦日

今日舟のまゝに流るる舟のまゝに流るる
 舟のまゝに流るる舟のまゝに流るる
 舟のまゝに流るる舟のまゝに流るる
 舟のまゝに流るる舟のまゝに流るる

